

震災避難行動マップ



指定避難所		地震や津波の危険がなくなつた後で 自宅での滞在が不可能な場合に行ふ施設	
施設名称	所在地	避難場所	収容人数
① 南陽小学校	東栗原二丁目328	体育館、ホワイト スクール教室	349名
② 南陽東中学校	西栗原一丁目35-2	体育館 校務棟	676名
③ 県立南陽高等学校	大西二丁目99		537名
④ 南陽センター	東栗原二丁目330	語学室、食事室 図書室、教室	98名
⑤ 南陽第一保育園	東栗原二丁目305	保育室 給食室	129名
⑥ 南陽交流プラザ	東栗原二丁目123	大ホール、小ホール、特別活動室 多目的室、トレーニング 室、会議室	652名
⑦ 藤前会館	藤前一丁目742	体育館、舞台、観覧席 多目的室	664名
⑧ 川原緊急避難所	西栗原四丁目156	集会所 教室 1、教室 2、教室 3	41名
⑨ 緑高緊急避難所	藤前二丁目81	集会所 教室 1、教室 2	45名
⑩ 七島緊急避難所	七島二丁目162	教室 会議室、会議室 2	53名
⑪ 小川緊急避難所	小川三丁目134	集会所 教室 1、教室 2	48名

津波避難ビル		地震がおさまったあと津波から避難する施設		
	施設名称・マンション名	所在地	階層	収容人数
1	南陽小学校	東茶屋二丁目328	4	1,167
2	南陽東中学校	西茶屋一丁目35-2	4	1,376
3	県立南陽高等学校	大西二丁目99	4	1,222
4	南陽交流プラザ	東茶屋三丁目123	2	500
5	藤前会館	藤前一丁目742	3	300
6	川原緊急避難所	西茶屋四丁目156	2	120
7	藤高緊急避難所	藤高一丁目81	2	120
8	七島緊急避難所	七島二丁目162	2	120
9	小川緊急避難所	小川三丁目134	2	120
10	南陽工場 工場棟	藤前二丁目101	6	1,200
11	西茶屋庄2・9・10棟	西茶屋二丁目35-6	7	3,504
12	西茶屋庄11棟	秋葉一丁目130-3	7	838
13	特別養護老人ホーム 幸楽荘	小川一丁目17	4	150
14	名港海運株式会社 藤前物流センター	藤前二丁目204	5	520
15	特別養護老人ホーム 第二幸楽荘	小川一丁目19	3	400
16	喫茶ベル	秋葉一丁目120	3	100
17	イオンモール名古屋茶屋	西茶屋二丁目11	4	31,000
18	第二斎場	東茶屋三丁目123	2	2,000
19	茶屋・橋避難施設	東茶屋一丁目151	2	130
19	東京インテリア 名古屋本店	川園一丁目111	3	8,155



施設名称	所在地	覚書内容
株式会社小出組	港区東茶屋1丁目157番地	資材科(ジャッキ、バール、スコップ等)の提供、土のう等の提供(水害時)、その他必要に応じ協力
社会福祉法人大幸福社会特別養護老人ホーム幸荘荘	港区小川1丁目17番地	避難訓練(火災、地震)の参加、避難者の一時の救護、その他避難者への一時的な応援
株式会社ネクステージ 名古屋茶屋店	港区高茶屋3丁目64番地	一時避難場所の提供、牽引ロープ、ジャッキ等の仮助用資材の提供
株式会社ホンダカーズ愛知 名古屋茶屋店	港区高茶屋3丁目77番地	一時避難場所の提供、牽引ロープ、ジャッキ等の仮助用資材の提供
イオンリテール株式会社 イオン名古屋茶屋店	港区高茶屋2丁目11	緊急生活物資(飲料水等)の提供、その他可能な範囲におおきき協力
名古屋ダイワロイ株式会社 U-CAR 南陽茶屋店	港区(二)三丁目73番地2	一時の避難場所(車庫、ショールーム、会議室)の提供、牽引ロープなどの資材の貸出し、その他適宜の民地から支援協力可能な資材品の貸出し



地震発生！ 災害時の対応

港区南陽学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。**自分の身を確保に守るため、日頃から家具の転倒防止などの防震対策に努めましょう。**
また、津波が他の地区よりも早く到来します。浸水が2.0mから3.0mに及び箇所もあります。**名古屋港への最短津波(30cm)到達時間は96分と予測されており、潮上はその後始まります。**この時間を最大限に使い津波避難ビルへ避難しましょう。
また、液状化現象も起きる可能性も高い地区です。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

- 身の安全の確保
- 倒れそうなタンスなどの家具、ガラス戸から離れる
- 机の下に隠れて、低い姿勢で身を守る
- 安全に消せる場合は火を消す
- 可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- 屋外にいる場合は、建物など倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

揺れがおさまった

地震発生

①揺れが収まったら高台へ。
時間がなければ津波避難ビルへ避難！

津波から安全に
避難するための
5つのポイント



②隣近所へ声をかけ
原則徒歩で避難！



③高齢者や
障がいのある方など
の避難
支援を！



④引き返さない！
安全確認が済むまで避難継続を！



⑤海岸や川沿いには
絶対近づかない！



津波発生時の地域での声かけ・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。
地震の揺れがおさまったあとは、**地域の皆さんで声掛けを**し、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。
また、日頃から一人で避難できない方（高齢者・障がいのある方など）を把握しておきましょう。



<一戸建てにお住いの方>

- ① 町内の組織で「声かけ」して無事を確認しよう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「声かけ」を繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルへ避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

<集合住宅にお住いの方>

- ① お住いの階ごとに「声かけ」して無事を確認しよう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「声かけ」を繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、住宅の3階以上へ津波避難する
- ④ 津波到達予測時刻の30分前までに避難完了する

- 火元を消す・ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口の確保
- 隣近所への声掛け、安否の確認
- 玄関先に「無事です」の表示
- 家屋、近所の被害状況の確認
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集



隣近所や近隣住民の皆さんで「無事です」の表示がされていないお宅の安否を確認し合いましょう！

同じ階の住民の無事を確認できたら、上階・下階の住民の方が無事かどうかの確認、避難支援を！

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か



津波警報解除
避難勧告解除

津波避難ビルを
目指して
避難開始

- 隣近所へ声をかけながら、あらかじめ決めた津波避難ビルへ避難
- 持てる量の非常持出袋を持って避難
- 落下物など周囲の危険に気をつけて避難